

失敗を忘れてはいけない

村上市立村上東中学校 3年 菅原 鈴音

「郡市大会も終わり、10日後には、1年生にとっては初めての、2、3年生にとっては新しい学年になって1回目の定期テストがあります。授業に集中し、テストに向けて計画的に学習に取り組みましょう。」

生徒会長という役職につき、私は生徒朝会などで全校のみんなの前で話すことが多くなりました。朝の挨拶の前に、その月の行事や全校で頑張ってもらいたいことなどを話します。事前に話す内容を考え、原稿を作って臨みますが、緊張してしまい、呼びかけが思うようにできなかつたり、言葉につまったり、悔しい思いをしたことが何度もありました。最初のうちは、自分で納得のいかない失敗の繰り返しでしたが、うまく話せなかった点を反省し、次はうまく話せるようにしようと、家で原稿を何度も何度も読んで覚えました。なるべく自分が話しやすく、聞いている人も聞きやすい言葉を選んで、自分なりに工夫し、次の機会には、十分伝えられるように努力しました。半年が過ぎようとする今、全校のみんなの前で緊張せず、うまく話せることが多くなってきました。

また、私はバレーボール部に所属していました。練習では、一生懸命頑張ったものの、試合では、レシーブやサーブ、スパイクを何度も失敗して、先輩やコートに入っている仲間に迷惑をかけてしまい、とても悔しい思いをしたことが幾度となくありました。その度に私は、試合でのミスがなくすために、家で自主トレーニングをしました。体力のなさがミスにつながるようにランニング、筋トレはもちろんですが、ボールをつるしてスパイクの練習をしたり、家の人にボールを投げてもらいレシーブの練習をしたりしました。自分のした失敗を忘れては、自分の弱いところを克服できず、また同じ失敗を繰り返してしまうこととなります。失敗を練習や試合に生かすには、自分の失敗と、その悔しさを忘れないことが大切だ、と私は思うのです。

「失敗を忘れてはいけない。」自分自身の体験から、私はそう強く思います。全校のみんなの前で話すことにしろ、部活動の試合でのミスがなくすことにしろ、「大丈夫、次は失敗しない。」そう信じて、ポジティブでいることが必要です。それは自分の失敗を忘れることではありません。どんなささいなことでも、自分の失敗を心に留め、次は頑張ろうと努力することが大切なのだと思います。

多くの人の中には、失敗したことをクヨクヨといつまでも引きずらず、すぐに忘れた方が良く考える人もいるかもしれませんが、確かに、全校生徒の前で話していて途中で言葉がつまったり、試合でミスを連発してチームに迷惑をかけたりといった、悔しさや嫌な思いをしたことを自分の中に残しておきたいと思う人はいないでしょう。しかし、私は、悔しい思い、嫌な思いをしたことだからこそ、しっかりと覚えていきたいのです。良かったことばかりを覚えていて、失敗したときのことを忘れてしまっただけでは、同じ失敗を繰り返し、克服することはできないからです。自分にとって良くないことでもちゃんと覚えていれば、将来必ず自分のためになるはずです。

このことは、最も身近な、受験勉強にも言えることです。練習問題を解き間違ったところを覚えておいて復習する、テストでの失敗や悔しさを忘れずにしっかりと受け止め、せ

めて次は同じ失敗をしないように学習を進めるなど、残りの時間を有効に使って力をつけていきたいです。

これからも、思ったようにできないことや失敗して悔しい思いをすることがきっとたくさんあるでしょう。「失敗を忘れてはいけない。」このことを心に刻み、よりよい自分になるために、自分の弱いところを克服しようと努力し続けることができる、自分になれるように頑張っていきます。